

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1743】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 消防救急デジタル無線整備事業				
予算区分	款	09	消防費	所属	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	01	常備消防費	連絡先	0594-24-5274
	細目	010	消防救急デジタル無線整備事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市消防本部管内住民	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○共通波整備・整備工事 (平成24～26年度) ・維持管理費 (平成27年度～) ○新消防指令センター・活動波整備 ・基地局、指令システム整備 (平成26～27年度) ・中央分署改修整備 (平成27年度) ・活動波移動局整備 (平成27年度) ・旧消防指令センター撤去 (平成28年度)	民間関与が難しい事業であるため。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
電波法改正により、平成28年5月31日までにアナログ通信方式からデジタル通信方式に移行を行う。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	住民数	人	218,490	218,490	218,490	217,757	
	活動指標	通信デジタル化事業進捗状況	%	100.0	100.0	100.0	100.0
成果指標	通信デジタル化事業進捗率	目標値	20.0	30.0	100.0	100.0	
		実績値	20.0	30.0	100.0	100.0	
	投入コスト	事業費計	千円	8,086	3,952	554,226	12,431
		財源内訳	千円				
	国支出金				0	0	
	県支出金				0	0	
	地方債				341,700	0	
	その他		2,894	1,414	200,383	2,547	
	一般財源		5,192	2,538	12,143	9,884	
	所要人員 (正職員)	人工	0.23	0.46	0.60		
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	1,604	3,256	4,102		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

平成28年度より本運用している三消防本部 (四日市市、桑名市、菰野町) の新消防指令センター (四日市市中央分署) の共同運用にかかる整備及び維持管理費となっており、県下市町で負担額が決まっているため、見直しは難しい。また、平成28年度より保守費用等の発生により拡充となる。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1243】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 消防本部消防活動用機器整備事業				
予算区分	款	09	消防費	所属	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	01	常備消防費	連絡先	0594-24-5274
	細目	013	消防活動用機器整備費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市消防職員	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
現場活動で劣化した消防ホース、ドライブレコーダー、空気ボンベ等を計画的に更新購入する。 平成27年度は消防用ホース53本、ドライブレコーダー13台、空気ボンベ12本を整備した。	予定無し
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
資機材の不足、不備を無くし、迅速かつ安全確実な現場活動を確保するとともに、災害現場における隊員の身体保護を強化し、安全管理の徹底を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	消防職員数	人	247	247	249	249
活動指標	消防用資器材整備件数	件	19	45	78	115
成果指標	消防用資器材の機器不全件数	件	目標値 0	0	0	0
			実績値 0	0	0	
投入コスト	事業費計		1,325	6,131	4,672	6,029
	財源内訳	国支出金				0
		県支出金				0
		地方債				0
		その他	474	2,194	1,672	2,156
		一般財源	851	3,937	3,000	3,873
		所要人員 (正職員)	人工	0.05	0.05	0.05
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00	
	人件費合計	千円	349	354	342	

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

平成28年度以降も引き続き消防体制の充実を図るため消防活動用機器を整備する。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1251】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目08 消防職員研修事業				
予算区分	款	09	消防費	所属	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	01	常備消防費	連絡先	0594-24-5273
	細目	006	一般管理費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
市民	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
消防に関する専門知識及び技術習得の為、消防学校・消防大学校等において各種教育訓練及び団体等が主催する講習会を受講する。	消防職員研修のため可能性はない
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
消防職員的能力アップを図り、市民のニーズに合った消防業務を可能にする。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	全消防職員数	人	247	246	249	252	
活動指標	受講及び研修種別数	種	25	26	23	24	
成果指標	各種研修修了者数	人	目標値 70 実績値 46	44 56	55 48	52	
			目標値 実績値				
	事業費計			4,380	3,222	4,221	7,227
	投入コスト	財源内訳	国支出金				0
県支出金						0	
地方債						0	
その他			1,567	1,153	1,511	2,594	
一般財源			2,813	2,069	2,710	4,633	
	所要人員 (正職員)	人工	0.07	0.07	0.07		
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	488	496	479		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

災害が多様化している中で各種研修会による知識の習得は欠かせないものである。財政状況を踏まえ、予算内で有効に活用できる研修会への参加を検討していく。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1245】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 消防本部消防関係事業				
予算区分	款	09	消防費	所属	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	01	常備消防費	連絡先	0594-24-5273
	細目	006	一般管理費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
消防本部・警防隊・西分署及び大山田分署職員。 消防本部・西分署及び大山田分署施設。	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
消防業務に関する消耗品の調達、各種消防資機材の修理、保守点検、許可申請、会議・訓練等に係る出張旅費を計上する。	市職員が実施することが妥当である。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
各種災害に必要な消防資機材を充足させるとともに、機能保持に努め、出場態勢を万全なものにする。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	消防本部・署、西分署及び大山田分署職員数	人	152	148	148	148	
	施設数	棟	3	3	3	3	
活動指標	保守点検実施件数	件	6	6	6	6	
成果指標	消防資器材の不具合修繕率	%	目標値 100.0	100.0	100.0	100.0	
			実績値 100.0	100.0	100.0	100.0	
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計			5,595	5,341	5,454	13,168
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					2,844
		地方債					0
		その他		4,172	3,937	4,258	4,043
		一般財源		1,423	1,404	1,196	6,281
	所要人員 (正職員)	人工	0.10	0.10	0.10		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	697	708	684			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

多様化する災害事案に対応するため、消防用資器材及び消耗品の充足を図るとともに、資器材の定期保守点検を実施し、消防力の充実強化を推進する。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1265】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 多度分署消防関係事業				
予算区分	款	09	消防費	所属	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	02	多度分署消防費	連絡先	0594-24-5273
	細目	005	一般管理費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
多度分署職員、多度分署施設	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
火災現場等消防業務に関する消耗品の調達、各種消防資器材の修理、保守点検を実施する。	市職員が実施することが妥当である。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
各種災害に必要な消防資器材を充足させるとともに、機能保持に努め、出場態勢を万全なものとする。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	多度分署職員数	人	13	13	13	13	
	施設数	棟	1	1	1	1	
活動指標	保守点検実施件数	件	2	2	2	2	
成果指標	消防資器材の機器不具合修繕率	%	目標値 100.0	100.0	100.0	100.0	
			実績値 100.0	100.0	100.0	100.0	
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計		417	354	226	342	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		417	354	226	342
	所要人員 (正職員)	人工	0.02	0.02	0.02		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	140	142	137			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

多様化する災害事案に対応するため、消防用資器材及び消耗品の充足を図るとともに、資器材の定期保守点検を実施し、消防力の充実強化を推進する。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1254】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 全国消防長会等関係事業				
予算区分	款	09	消防費	所屬	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	01	常備消防費	連絡先	0594-24-5273
	細目	008	全国消防長会等関係経費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
消防職員	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
全国消防長会・三重県消防長会及び全国消防協会に加入し、消防に関する情報交換・消防制度及び技術の総合研究を行い、消防の健全なる発展に寄与する。 ※本事業は消防本部経費として計上する。	全国消防長会等は全国の消防本部が加入している団体で、活動は情報交換・技術研究等を行っており、桑名市単独の事業ではない為。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
消防の更なる発展を目的とする。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	負担金支出団体	団体	3	3	3	3	
活動指標	総会・研修会等の実施回数	回	3	3	3	3	
成果指標	総会・研修会等への参加率	%	目標値 100.0	100.0	100.0	100.0	
			実績値 100.0	100.0	100.0	100.0	
		目標値					
		実績値					
投入コスト	事業費計			647	741	641	684
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他		232	265	229	244
		一般財源		415	476	412	440
	所要人員 (正職員)		人工	0.20	0.20	0.20	
	所要人員 (嘱託再任用)		人工	0.00	0.00	0.00	
人件費合計		千円	1,395	1,416	1,367		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

遠方への出張の場合、出席を見送ることもある。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1280】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 長島木曾岬分署消防関係事業				
予算区分	款	09	消防費	所属	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	03	長島木曾岬分署消防費	連絡先	0594-24-5273
	細目	005	一般管理費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
長島木曾岬分署職員、長島木曾岬分署施設	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
火災現場等消防業務に関する消耗品の調達、各種消防資器材の修理、保守点検を実施する。	市職員が実施することが妥当である。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
各種災害に必要な消防資器材を充足させるとともに、機能保持に努め、出場態勢を万全なものとする。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	長島木曾岬分署職員数	人	21	21	21	21	
	施設数	棟	1	1	1	1	
活動指標	保守点検実施件数	件	3	3	3	3	
成果指標	消防資器材の機器不具合修繕率	%	目標値 100.0 実績値 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0	
			目標値				
			実績値				
投入コスト	事業費計			1,326	905	443	3,993
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他		403	275	135	1,213
		一般財源		923	630	308	2,780
	所要人員 (正職員)		人工	0.02	0.02	0.02	
	所要人員 (嘱託再任用)		人工	0.00	0.00	0.00	
人件費合計		千円	140	142	137		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

災害事案に迅速に対応するため、消防用資器材及び消耗品の充足を図るとともに、資器材の定期保守点検を実施し、消防力の充実強化を推進する。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1250】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目07 防災指導関係事業				
予算区分	款	09	消防費	所属	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	01	常備消防費	連絡先	0594-24-5273
	細目	006	一般管理費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
住民、企業等	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
自主防災訓練及び救命講習の実施	自主防災訓練、救急講習等の参加により、災害に強い街づくりの実施
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
防災訓練参加者及び救命講習受講者を増やし、公助への期待から、自助、共助の自覚への自主防災意識の向上を図る	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市民数	人	142,521	142,544	143,088	143,088	
活動指標	自主防災訓練の実施回数	回	17	10	10	10	
	救急救命講習実施回数	回	65	80	92	80	
成果指標	自主防災訓練の参加者数	人	目標値 3,500 実績値 4,280	4,000 2,018	2,500 3,702	3,000	
		人	目標値 1,200 実績値 1,900	2,000 2,344	2,000 2,352	2,000	
	投入コスト	事業費計		1,071	950	857	899
		財源内訳	国支出金				
県支出金							0
地方債							0
その他			333	290	257	270	
	一般財源		738	660	600	629	
	所要人員 (正職員)	人工	3.07	3.07	3.05		
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	2.00	2.00	2.00		
	人件費合計	千円	28,183	28,745	27,651		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

大地震が予想されるなか、自治体・企業を中心とする自主防災訓練及びAEDを使用した救命講習の普及により、自主防災力の向上や救命率の底上げを図り、災害に強い街づくりを目指していく

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1241】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 消火栓新設事業				
予算区分	款	09	消防費	所属	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	01	常備消防費	連絡先	0594-24-5274
	細目	012	消防水利施設整備事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市内水利必要エリア	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
消火栓の新設・交換、移設 平成26年度は、1基設置、20基を交換、6基を移設 平成27年度は、7基を交換・12基を移設	市民の安全・安心、消防戦術等においても成果は絶大であり、「消防施設・装備の充実」が期待できる事業である事の理解を得て、継続的、計画的に整備していく。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
劣化の著しい消火栓の緊急交換修繕により消防水利の安全確保を図る。また、市域の水利状況を考慮し、消火栓設置による水利整備の充実を行い災害に備える。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初		
対象指標	桑名市面積	km ²	136.6	136.6	136.6	136.6		
活動指標	消火栓移設数	基	9	6	12	10		
	消火栓交換修繕数	基	19	20	7	7		
成果指標	消防水利基準に定める充足率	%	目標値 85.0	85.0	85.0	85.0		
			実績値 83.3	83.3	82.7			
			目標値 実績値					
投入コスト	事業費計			18,984	17,949	8,963	11,500	
	財源内訳	国支出金	千円		6,079	6,223		0
		県支出金						0
		地方債		4,100	4,300	8,500	10,900	
		その他					0	
		一般財源		8,805	7,426	463	600	
		所要人員 (正職員)	人工	0.02	0.02	0.02		
		所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	140	142	137			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

現在、社会資本整備総合交付金の補助が受けられなくなったが、来年度以降も予算の許す限り、水利の基準に基づき、充足率の低い地域を中心に順次整備する。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2084】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 車両購入事業（消防本部）				
予算区分	款	09	消防費	所属	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	01	常備消防費	連絡先	0594-24-5274
	細目	005	消防施設整備事業費		

事業の概要

（事業の概要を対象、手段、意図で説明します。）

対象（誰、何に対してこの事務事業を行うのか）	公民連携の前進
桑名市の居住者	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段（事務事業の内容、やり方、手順）	理由
◎車両整備計画に基づき、消防本部配備の車両を更新していく。 ・高規格救急自動車 救急桑名3 更新	桑名市においても年々救急件数も増加しており、住民に特殊車両の必要性を訴え理解をえて、更新計画に基づいて車両更新計画をする。
意図（この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
老朽化した消防車両を車両整備計画に基づき更新し、時代に合った車両を整備することで、更なる安心を提供する。	

事業活動と成果

（上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。）

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	桑名市民数	人	142,347		143,088	143,088	
	車両整備計画台数	台	2		1	1	
活動指標	購入台数	台	2		1	1	
成果指標	整備計画の実施率	%	目標値 100.0 実績値 100.0		100.0 100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
投入コスト	事業費計			70,413	0	28,136	0
	財源内訳	国支出金	千円	9,750		11,631	0
		県支出金		3,749			0
		地方債		42,800		12,100	0
		その他					0
		一般財源		14,114		4,405	0
	所要人員（正職員）	人工	0.00	0.00	0.02		
所要人員（嘱託再任用）	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円				137		

進捗評価

（事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。）

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

老朽化した消防車両及び装備品が原因で、緊急出場ができない或いは災害対応ができないことを防ぐ為、計画的に更新整備を実施する。